

第85期中間報告書

(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

組 織



材 料



つなぐを化学する

SPECIALITY
CHEMICAL PARTNER

歴 史



パートナー



荒川化学工業株式会社



代表取締役社長 谷奥 勝三

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、第85期中間報告書(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期の世界経済は、米国を中心とする先進国では緩やかな景気回復が続いたものの、中国をはじめとする新興国の景気減速により、弱い成長に留まりました。一方、国内経済は、消費税増税後の内需落ち込みからの持ち直しテンポが鈍く、また、原材料価格およびエネルギーコストの高止まりが、製造業・素材業種の収益を圧迫しております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、第3次中期経営計画の方針に沿った重点施策を進め、中国などのアジア地域ならびに欧州における事業拡大や、事業開発の促進に注力してまいりました。しかしながら、いまだにロジンをはじめとする原材料価格の上昇が収益圧迫の要因となっており、製品価格の改定や、経費削減に努めております。そのような状況下、海外での収益拡大により、売上、利益ともに前年同期を上回りました。

その結果、当中間期の売上高は395億93百万円(前年同期比11.5%増)、営業利益は15億43百万円(同36.0%増)、経常利益は16億49百万円(同15.8%増)、純利益は11億95百万円(同37.9%増)となりました。

なお、当中間期の配当金につきましては、1株につき13円とさせていただきます。

平成25年4月にスタートしました第3次中期経営計画では、創業140周年(平成28年)に向け、キャッチフレーズ「**グローバル140**」を共通認識として一層グローバル化を加速させ、「アジアを中心に活躍できる企業」へと成長

することを目指しております。

さらに、6年後の2020年(平成32年)には「真のグローバル企業」となることを見据え、長期的な視点も加えた成長戦略を実行、実現してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

役員一同(平成26年9月30日現在)



前列左から：宇根高司常務取締役、谷奥勝三代表取締役社長、眞鍋好輝常務取締役、末村長弘取締役相談役
中列左から：延廣徹取締役、辰巳純一取締役、西川学取締役、三王哲朗取締役、宮下泰知取締役、荒川壽正取締役、中西隆夫社外取締役
後列左から：山中勝之常勤監査役、厚朴裕一常勤監査役、岩城本臣社外監査役、浅井正士社外監査役

株主の皆様へ…………… 1・2
 What is ROSIN?
 江戸時代から続く水道を支える、……… 3・4
 松脂の力
 事業の概況…………… 5・6
 連結財務諸表…………… 7・8
 Information
 日本の伝統工芸技術継承のために…………… 9
 会社概要…………… 10

江戸時代から続く上水道を支える、松脂の力

江戸時代、細川家のもとで栄えた歴史ある城下町、熊本県宇土市。かの地には、現役の上水道としては最も古い歴史を持つ、こうせんすいどう轟泉水道があります。その補修には、ロジンの原料となる松脂の成分を含んだ「ガンゼキ」と呼ばれる接着剤が使用されています。今回は、轟泉水道の歴史とともに「ガンゼキ」に松脂がもたらす効果を紹介します。

轟泉水道の水管に用いられる「ガンゼキ」

もともと宇土市の周辺地域は地下水が少なく、飲料水の確保に長らく苦しんできました。そうした問題が解消されたのは、江戸時代のこと。宇土細川家の治世に、約4km離れた大岳系山地のとどろきすいげん轟水源より水を引くという、大規模な上水道の敷設工事が敢行されたのです。

1664年には、全ての敷設が完成。しかし、その後1世紀を経ると、水が通る瓦の水管にはほころびが目立つようになります。そこで、地元で採れるまかどし馬門石を凹型にくりぬいてつなぎ合わせ、新しい水管として差し替えることに。そのつなぎ目の接着に用いられたのが「ガンゼキ」でした。

松脂の粘りが「ガンゼキ」に力を

「ガンゼキ」は水道石管の割れ目などを補修するのに古くから使われてきた接着剤で、主な原料は赤土と貝灰、塩、松の葉や枝を煮だしたものです。これらをよく混ぜ合わせてつくりませんが、ポイントになるのは松の煮汁に含まれる松脂の粘りです。この粘りが、赤土と貝灰をつなぎつけて強固にする役割を果たしているのです。

轟泉水道では、水の中でも固まるという「ガンゼキ」の性質を利用して今でも補修に使用されています。300年以上経った現在も、宇土市民の飲料水を守り続けているのです。



●原料を混ぜ合わせ餅つきの要領で何度も突くと、やがて粘り気がある茶褐色の「ガンゼキ」ができあがります



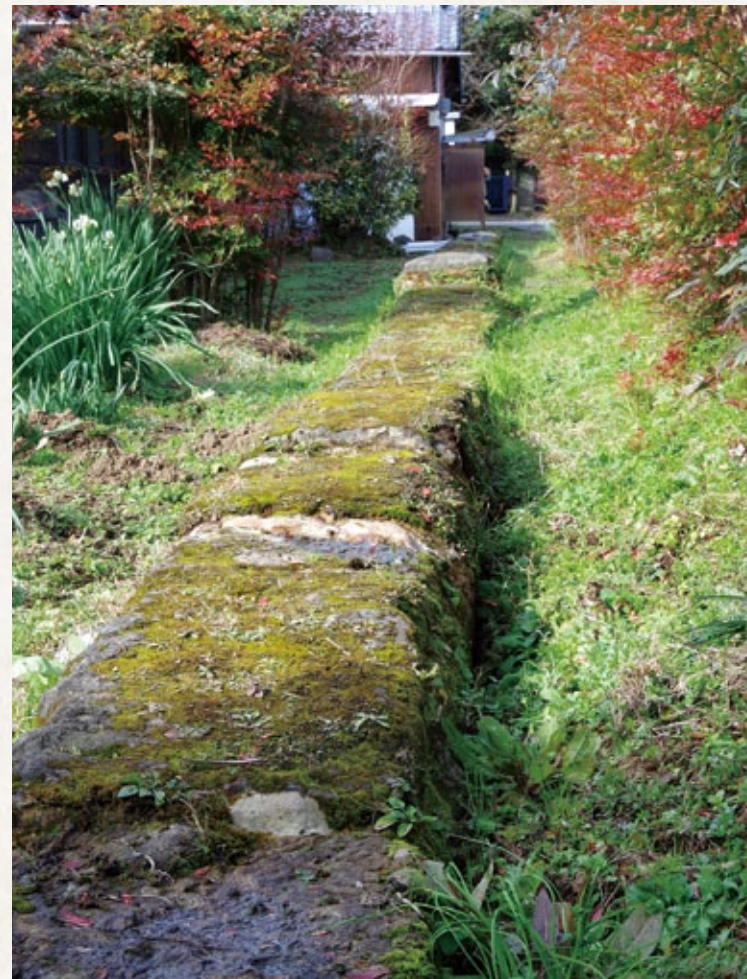
●「ガンゼキ」を使って水漏れしている部分を修理。4時間ほどで徐々に固まります

資料提供：宇土市教育委員会 文化課

●轟泉水道の水源として、毎分4,200リットルの湧水量を誇るという轟水源。環境省選定「日本名水百選」にも選定されています



●轟泉水道の石造りの水管。現役では日本最古と言われている



荒川化学はロジンと歩んで138年

荒川化学は、明治9年の創業以来、138年におよぶ永きにわたり「ロジン」を原料とするパインケミカルズ（松脂関連化学製品）分野のパイオニアとしての地位を確立してまいりました。例えば、紙のにじみ止め薬品、印刷インキ用樹脂、粘着・接着剤用樹脂などを開発し、日本の産業の発展に大きく貢献してまいりました。

つなぐを化学する

SPECIALITY CHEMICAL PARTNER

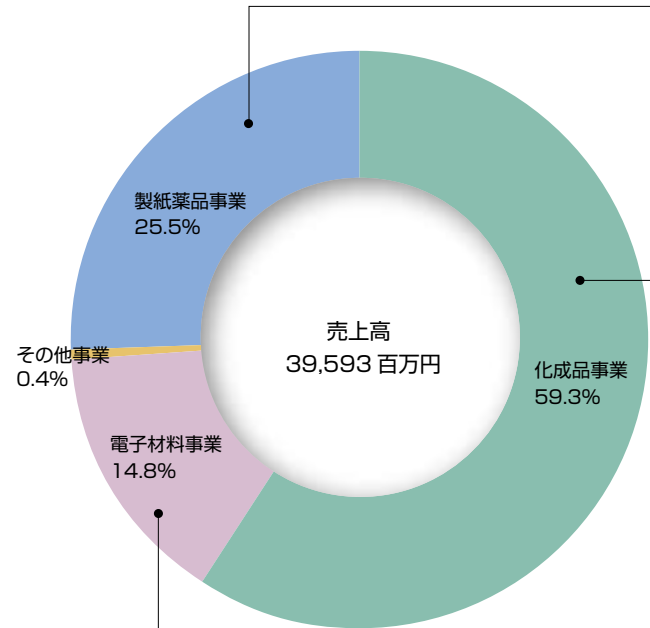
荒川化学の、さまざまな素材を活かす独自の「つなぐ」技術は、環境にやさしくを基本に、人と地球の未来をつなぎます。取引先はもとより、グループ社員、社会とのつながりを大切にする

「SPECIALITY CHEMICAL PARTNER」

を目指します。



ロジン
(松脂を精製したものです)



製紙薬品事業



国内製紙業界は、段ボール原紙など板紙の生産が堅調に推移しました。一方、印刷・情報用紙は、消費税増税後の反動減からの回復の遅れもあり、需要が低迷しました。このような環境のもと、当事業におきましては、国内販売は堅調に推移しました。利益面では、国内での原材料価格上昇による収益圧迫もありましたが、中国を中心としたアジア地域における拡販が寄与し、増益となりました。

その結果、売上高は100億97百万円(前年同期比4.6%増)、セグメント利益は5億60百万円(同7.4%増)となりました。

化成事業

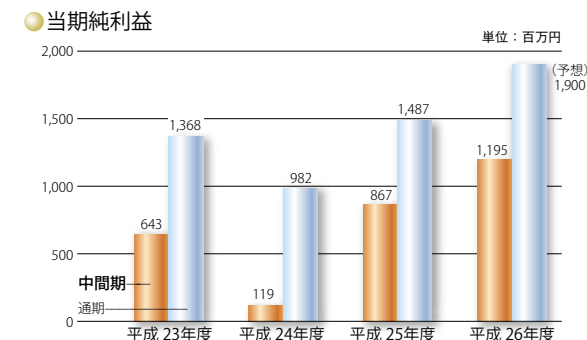
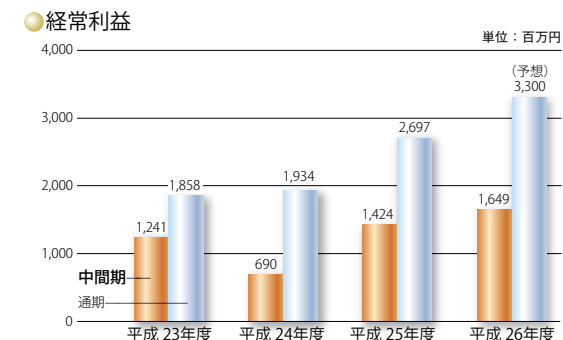
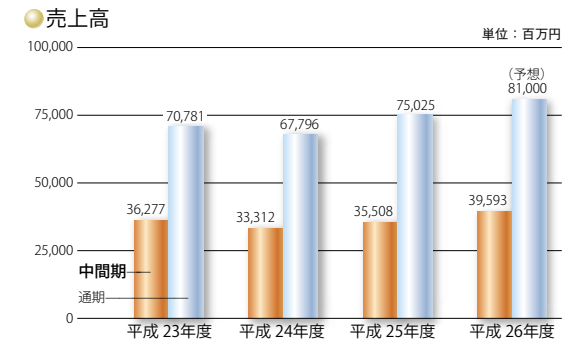


国内の印刷インキや粘着・接着剤業界は、電子媒体の普及で需要が縮小傾向にあることから出版分野で低迷が続きましたが、包装分野は堅調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、国内の印刷インキ用樹脂は低調に推移しましたが、粘着・接着剤用樹脂が欧州地域で伸張し、売上高は234億95百万円(前年同期比20.1%増)となりました。セグメント利益は、原材料価格上昇により収益性が悪化しておりますが、欧州地域での拡販、機能性ファインケミカル製品の寄与等により、8億18百万円(同41.0%増)となりました。

電子材料事業



電子工業業界は、スマートフォンや車載向けが需要を牽引し、中でも中国メーカーが攻勢を強める低価格スマートフォンの需要は好調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、高機能スマートフォン関連用途向け光硬化型樹脂や電子材料用配合製品が振るわず、売上高は58億50百万円(前年同期比4.8%減)、セグメント損失は79百万円(前年同期はセグメント利益20百万円)となりました。



連結貸借対照表

| 科 目 | 前中間期 (25.9.30 現在) | 当中間期 (26.9.30 現在) | 前 期 (26.3.31 現在) |
|-----------------|----------------------|----------------------|---------------------|
| [資産の部] | | | |
| 流 動 資 産 | 49,229 | 53,441 | 54,406 |
| 現金及び預金 | 8,075 | 7,670 | 6,668 |
| 受取手形及び売掛金 | 25,047 | 27,969 | 28,167 |
| たな卸資産 | 14,431 | 16,463 | 17,478 |
| その他 | 1,821 | 1,493 | 2,249 |
| 貸倒引当金 | △ 147 | △ 156 | △ 157 |
| 固 定 資 産 | 28,579 | 27,596 | 27,936 |
| 有形固定資産 | 21,624 | 20,309 | 21,072 |
| 建物及び構築物 | 8,092 | 7,652 | 7,933 |
| 機械装置及び運搬具 | 8,152 | 7,244 | 7,828 |
| 土地 | 4,775 | 4,781 | 4,724 |
| その他 | 604 | 631 | 585 |
| 無形固定資産 | 753 | 583 | 674 |
| 投資その他の資産 | 6,200 | 6,702 | 6,189 |
| 投資有価証券 | 5,411 | 6,017 | 5,480 |
| その他 | 796 | 697 | 717 |
| 貸倒引当金 | △ 7 | △ 11 | △ 8 |
| 資 産 合 計 | 77,808 | 81,037 | 82,342 |

(単位：百万円)

| 科 目 | 前中間期 (25.9.30 現在) | 当中間期 (26.9.30 現在) | 前 期 (26.3.31 現在) |
|--------------------|----------------------|----------------------|---------------------|
| [負債の部] | | | |
| 流 動 負 債 | 30,916 | 26,698 | 29,047 |
| 支払手形及び買掛金 | 11,090 | 11,781 | 12,867 |
| 短期借入金 | 10,962 | 10,441 | 11,525 |
| 1年内償還予定の社債 | 5,000 | — | — |
| その他 | 3,862 | 4,475 | 4,654 |
| 固 定 負 債 | 4,349 | 9,708 | 9,660 |
| 社債 | — | 5,000 | 5,000 |
| 長期借入金 | 1,553 | 2,171 | 2,079 |
| 退職給付引当金 | 1,626 | — | — |
| 退職給付に係る負債 | — | 858 | 1,015 |
| その他 | 1,170 | 1,678 | 1,565 |
| 負 債 合 計 | 35,266 | 36,406 | 38,708 |
| [純資産の部] | | | |
| 株 主 資 本 | 38,687 | 40,111 | 39,066 |
| 資本金 | 3,128 | 3,184 | 3,128 |
| 資本剰余金 | 3,350 | 3,405 | 3,350 |
| 利益剰余金 | 32,220 | 33,533 | 32,599 |
| 自己株式 | △ 11 | △ 11 | △ 11 |
| その他の包括利益累計額 | 2,353 | 3,113 | 3,342 |
| その他有価証券評価差額金 | 1,480 | 1,721 | 1,370 |
| 為替換算調整勘定 | 873 | 1,147 | 1,714 |
| 退職給付に係る調整累計額 | — | 244 | 256 |
| 新株予約権 | 27 | 23 | 27 |
| 少数株主持分 | 1,473 | 1,382 | 1,199 |
| 純 資 産 合 計 | 42,542 | 44,630 | 43,634 |
| 負債純資産合計 | 77,808 | 81,037 | 82,342 |

連結損益計算書

| 科 目 | 前中間期 (25.4.1 から 25.9.30 まで) | 当中間期 (26.4.1 から 26.9.30 まで) | 前 期 (25.4.1 から 26.3.31 まで) |
|------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| 売上高 | 35,508 | 39,593 | 75,025 |
| 売上原価 | 28,672 | 32,238 | 61,028 |
| 売上総利益 | 6,386 | 7,355 | 13,997 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,700 | 5,812 | 11,662 |
| 営業利益 | 1,135 | 1,543 | 2,335 |
| 営業外収益 | 449 | 273 | 747 |
| 営業外費用 | 160 | 167 | 386 |
| 経常利益 | 1,424 | 1,649 | 2,697 |
| 特別利益 | 1 | 461 | 91 |
| 特別損失 | 6 | 11 | 113 |
| 税金等調整前中間(当期)純利益 | 1,419 | 2,099 | 2,674 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 243 | 535 | 678 |
| 法人税等調整額 | 228 | 132 | 348 |
| 少数株主利益 | 79 | 236 | 160 |
| 中間(当期)純利益 | 867 | 1,195 | 1,487 |

(単位：百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書

| 科 目 | 前中間期 (25.4.1 から 25.9.30 まで) | 当中間期 (26.4.1 から 26.9.30 まで) | 前 期 (25.4.1 から 26.3.31 まで) |
|--------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 3,487 | 2,859 | 2,671 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △1,023 | △861 | △ 1,926 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △1,710 | △870 | △ 1,538 |
| 現金及び現金同等物に 係る換算差額 | 327 | △124 | 468 |
| 現金及び現金同等物の 増加額(△は減少額) | 1,081 | 1,002 | △ 325 |
| 現金及び現金同等物の 期首残高 | 6,901 | 6,576 | 6,901 |
| 現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高 | 7,983 | 7,578 | 6,576 |

(単位：百万円)

日本の伝統工芸技術継承のために

全国の刀鍛冶でつくる全日本刀匠会の有志と、岡山県久米郡美咲町で木炭生産をおこなう大山炭焼クラブのメンバーで組織された伝統工芸木炭生産技術保存会は、刀鍛冶に必要ですが生産量が減っている松炭を作り、技術の継承に努めています。

松炭は、火がつきやすく、火の温度は黒炭の中で一番高いという特徴から、古くから刀鍛冶に使われています。

同保存会は、平成25年度 都道府県緑推推薦

事業「ふるさとの森林再生事業」に指定された「長船刀剣の森作り」活動にも取り組み、赤松の苗木を植えています。

創業以来「松」と関わっている当社も、同保存会の趣旨に賛同し賛助会員として加入しております。また、社員有志が「長船刀剣の森」で下刈り・手入れのボランティアをおこなっております。

今後もこのボランティア活動を続け国内の松を大切に参ります。



岡山県久米郡三咲町「長船刀剣の森」で赤松苗木の下刈り・手入れボランティア中



保存会のみなさんと

会社概要 (平成26年9月30日現在)

| | |
|------------|---|
| 商号 | 荒川化学工業株式会社 |
| 創業 | 明治9年(1876年) |
| 設立 | 昭和6年1月(1931年) |
| 資本金 | 31億8,406万円 |
| グループ従業員 | 1,353名 |
| 主な事業内容 | 次の製品の製造および販売 製紙用薬品、印刷インキ用樹脂、塗料用樹脂、 粘着・接着剤用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤、 光硬化型樹脂、電子材料用配合製品、 精密部品洗浄剤および洗浄装置 |
| ホームページアドレス | http://www.arakawachem.co.jp |

役員 (平成26年9月30日現在)

| | |
|---------|---------|
| 代表取締役社長 | 谷 奥 勝 三 |
| 常務取締役 | 眞 鍋 好 輝 |
| 常務取締役 | 宇 根 高 司 |
| 取締役相談役 | 末 村 長 弘 |
| 取締役 | 延 廣 徹 |
| 取締役 | 辰 巳 純 一 |
| 取締役 | 西 川 学 |
| 取締役 | 三 王 哲 朗 |
| 取締役 | 宮 下 泰 知 |
| 取締役 | 荒 川 壽 正 |
| 社外取締役 | 中 西 隆 夫 |
| 常勤監査役 | 山 中 勝 之 |
| 常勤監査役 | 厚 朴 裕 一 |
| 社外監査役 | 岩 城 本 臣 |
| 社外監査役 | 浅 井 正 士 |

株式の状況 (平成26年9月30日現在)

| | |
|------------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 52,800,000株 |
| 発行済株式の総数 | 20,280,700株 |
| 株主数 | 3,070名 |
| 大株主(上位10名) | |

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 1,616 | 7.97 |
| 荒川化学従業員持株会 | 1,194 | 5.89 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 940 | 4.64 |
| 荒川壽正 | 581 | 2.87 |
| 三菱化学株式会社 | 406 | 2.00 |
| 株式会社みずほ銀行 | 397 | 1.96 |
| 株式会社三井住友銀行 | 396 | 1.96 |
| 荒川彦二 | 380 | 1.88 |
| CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO | 363 | 1.79 |
| 王子ホールディングス株式会社 | 345 | 1.71 |

(注) 持株比率は、自己株式(12,221株)を控除して計算しております。

グループ会社の状況 (平成26年9月30日現在)

| 会社名 | 資本金 | 議決権比率 |
|----------------------------------|--------------|-------|
| Arakawa Europe GmbH | 52千ユーロ | 100% |
| 広西梧州荒川化学工業有限公司 | 15,000千米ドル | 100% |
| 南通荒川化学工業有限公司 | 8,000千米ドル | 100% |
| ペルノックス株式会社 | 60百万円 | 100% |
| 高压化学工業株式会社 | 60百万円 | 100% |
| ARAKAWA CHEMICAL (THAILAND) LTD. | 119,000千タイバツ | 100% |
| 台湾荒川化学工業股份有限公司 | 149,226千新台幣元 | 60% |
| 荒川化学合成(上海)有限公司 | 3,900千米ドル | 100% |
| Arakawa Chemical (USA) Inc. | 1,400千米ドル | 100% |
| カクタマサービス株式会社 | 100百万円 | 100% |
| 日華荒川化学股份有限公司 | 25,000千新台幣元 | 100% |
| HONG KONG ARAKAWA CHEMICAL LTD. | 4,000千米ドル | 60% |
| 柏彌蘭科技股份有限公司 | 11,000千新台幣元 | 60% |
| 廈門荒川化学工業有限公司 | 5,603千米ドル | 間接60% |

株主メモ

| | |
|------------------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 6月中 |
| 基準日 | 定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日 |
| 公告方法 | 日本経済新聞 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 (お問い合わせ先) | 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料) |

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

荒川化学工業株式会社

大阪市中央区平野町1丁目3番7号 〒541-0046
電話 06-6209-8500(代表)



地球に優しいベジタブルインクを使用しております。